

NEWS RELEASE

平成 19 年 10 月 19 日

市光工業株式会社

ICK010

市光工業株式会社

世界初 インナーローリング構造を採用した フラットワイパーを開発

～10月24日からの東京モーターショーで初展示～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区五反田、代表取締役社長：市川 侑男、以下市光工業）では、世界で初めてインナーローリング構造を採用したフラットワイパーを開発しました。

市光工業が開発したフラットワイパーは、フラットワイパー特有のレバーレス構造に加え、車体とワイパーの結合部に世界で初めてインナーローリング構造を採用。スムーズな反転性能を確保しています。この特殊構造により、従来のワイパーとは異なり、ガラスとワイパーラバーの間に水膜を形成し、その厚さを均等にするため、「ビビリ」や「拭きムラ」を解消することができます。

また、ラバー全体に均一な圧力がかかるフラットワイパー特有のレバーレス構造により、滑らかな動きが可能になったことで、作動音の低減化と、高い払拭性能を両立した画期的な商品です。さらにスリムなデザインにより空気抵抗が小さく、高速走行時においても優れた性能を発揮します。

フラットワイパーは、取り付け部分が「Uフックタイプ」であるため、初心者でも簡単に交換することが可能です。対応車種は、右ハンドルの国産車で、長さが 300mm のものから 700mm のものまで合計 13 種類あります。価格はオープン価格となりますが、600 ミリの製品の参考価格は 3500 円程度で、全国の量販店等で発売される予定です。

なお、製品の詳細については、別記の通りです。

世界の技術光源になる

ICHIKOH

(このニュースリリースは森林保護のために再生紙を使用しています。)

(参考)

市光工業株式会社（以下、市光工業）は、1903年の創業以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及びGMやダイムラークライスラーなどの海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されている HID ヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで23%、ミラーで26%といった大きなシェアを誇っています（2006年実績）。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3443-7281

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3443-7281

(株)VAインターナショナル
田中/川崎

TEL: 03-3499-0016
FAX: 03-3499-0017



フラットワイパー（全体）



ワイパーの結合部